

平成 28 年 7 月 26 日

1 年生保護者 様

新見市立哲多中学校

校 長 梶川 克紀

平成 28 年度第 1 学年

岡山県学力学習状況調査（平成 28 年 4 月 19 日実施）の結果について

盛夏の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校教育の推進に、ご理解とご協力をいただき、感謝いたします。

さて、本年 4 月に実施しました「**第 1 学年岡山県学力学習状況調査**」の結果につきまして、その概略を文書にてご報告いたしますとともに、個人票を配布いたしますので、各家庭での指導のご参考にしていただきますようご案内いたします。

記

1 到達度について

教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	4 教科平均
本校 平均	69.6	66.8	72.5	67.6	69.1
岡山県平均	64.9	57.3	68.1	60.3	62.7

2. 各教科ごとの分析

教科	すぐれている点 改善を要する点	対 策
国 語	・ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、優れている。 ・ 無回答が少なく意欲が感じられる。 ・ 話す・聞く能力において、話し手の工夫を理解する力が弱い。 ・ 目的に応じて、文章と話し合いの内容を読み取る力が弱い。	・ 話すときの工夫を学習し、発表やプレゼンテーションを通して活用する。 ・ 様々な文章を読み、内容の理解力を高める。
社 会	・ 全分野で県平均を上回っている。 ・ 基礎がしっかりしており、知識と資料活用技能が優れている。 ・ 我が国の歴史と国土と地域の様子は県平均を 10 ポイント以上上回っている。	・ クイズ形式の問題に意欲的に取り組むので、授業中に ICT を利用しながら、楽しみながら復習をしてさらに基礎を固める。

	・社会的な思考・判断・表現の能力は他の2観点に比べるとやや弱い。(深く考えて表現することを苦手としている傾向がある) ・特に我が国の政治の動きの地方公共団体の働きを理解する力が弱い。 ・設問に対する表現の仕方がわかっていない。(理由を問われているのに「～ので」という記述ができていない)	・歴史上の人物や農民達の思いを文章表現させ、ICTを利用して、友人の考えを知り、理解を深めさせる。
数 学	・全分野で県平均を上回っている。 ・数と計算の分野や、数量や図形についての技能が特に身についている。 ・直方体の見取図など立体図形を理解している。	・小数・分数の計算などは、正負の数でも出るが、徹底して計算練習を繰り返し行う。 ・説明力をつけさせるため、グループでの学習で互いに説明しあい、理解を深めていく。
	・繰り下がりのある小数の減法の計算する力が弱い。 ・合同な図形や縮図に対しての理解力が弱い。 ・論理的な説明力が弱い。	
理 科	・基礎と活用、科学的な思考、表現、実験、観察の技能、自然事象についての知識・理解とも県平均を上回っている。	・基礎的事項の定着を図るため、小テストを繰り返す。 ・ICTを活用し、視覚的に理解させる。 ・グループで学習しあう場をもうける。
	・平均以下の生徒の割合が若干多い。 ・地学分野が県とほぼ同じ水準である。	
生 徒 質 問 紙	・県の結果と比べると、地域の行事に積極的に参加している生徒が多い。 ・ほとんどの生徒が、近所の人に会ったらあいさつをしている。 ・いじめは絶対いけないと全員が感じている。 ・毎日の勉強時間は1時間以上している生徒が9割。 ・勉強でわからないところを家で教えてもらった生徒が半数。 ・携帯・スマホの家庭のルールを守っている。	・ノーメディアデーなどを行い、時間を自ら管理することで、時間を作り、勉強時間・手伝いの時間・トレーニングの時間・家族の時間などに充てられるよう、普段の生活から、ノーメディアを意識した生活をさせたい。 ・家庭学習の時間は、1時間以上は全員できているので、継続させていきたい。
	・普段の生活（月曜日から金曜日）では、TVを見る時間、ゲームをする時間、携帯・スマホを使う時間が県平均より多い。（2時間以上の生徒が半数）	

3 標準学力調査後の生徒の取り組み

- ・個人票を面談と共に返却し、目標値に対する正答率を確認する。
- ・個人票をもとに生徒自身も標準学力調査を分析し、何を復習すべきなのか学習の見通しを立てる。
- ・eライブラリを活用して学習できる項目を書き出す。